

第３期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成３０年度の実施状況

農林水産部会

戦略 ３ 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

施策１ 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成

【施策の方向性】

- ① 秋田の農業をリードする競争力の高い経営体づくり
- ② 幅広い年齢層からの新規就業者の確保・育成
- ③ 多様なルートから秋田に呼び込む移住就業の推進
- ④ 農業労働力の安定確保と農作業の軽労化の促進
- ⑤ 秋田で活躍する女性の活動支援

【平成３０年度の主要事業】

◆農地中間管理総合対策事業

１，０５５，０５１千円

- ・農地の集積・集約化を促進するため、活動母体となる農地中間管理機構や市町村等の活動を支援。

◆次代につなぐ集落営農構造再編推進事業

９，８６８千円

- ・集落型農業法人の経営体質強化や円滑な経営継承を図るため、法人間連携や統合等による組織再編を推進するとともに、経営安定に向けたサポートを実施。

◆新規就農総合対策事業

５４９，４９４千円

- ・新規就農者の確保・育成を図るため、就農前の相談活動から、就農準備・実践段階まで、一貫したきめ細かなサポートを実施。

◆秋田の漁業がんばる担い手確保育成事業

２４，１８５千円

- ・漁業就業者を確保するため、就業希望者を対象にした地元漁師による技術研修等を実施。

◆「オール秋田で育てる」林業トップランナー養成事業

３３，３３６千円

- ・将来の林業を担う若い林業技術者を養成するため、林業大学校において研修等を実施。

◆ウェルカム秋田！移住就業応援事業

５４，８４１千円

- ・秋田の魅力をＰＲし、移住の拡大を図るとともに、農林水産業への就業やアグリビジネスの起業に向け、体験研修から移住就業に至るまで総合的に支援。

◆園芸労働力確保・サポート事業

４，３６７千円

- ・パワーアシストスーツ等による作業軽労化や県内外からの労働力確保など、県全体で労働力を確保する仕組みづくりを支援。

◆秋田で輝く女性の起業応援事業

１９，５５０千円

- ・女性起業者を育成するための起業ビジネス塾の開催や直売所への支援など、農林水産業における女性が活躍する場の創出・拡大に向けた取組を実施。

第３期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成３０年度の実施状況

農林水産部会

戦略 ３ 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

施策２ 複合型生産構造への転換の加速化

【施策の方向性】

- ① 大規模園芸拠点を核とした戦略作物の更なる生産拡大
- ② 「しいたけ」や「えだまめ」など日本一を目指す園芸産地づくり
- ③ 秋田のオリジナル品種による果樹・花きの生産振興
- ④ 大規模畜産団地の全県展開
- ⑤ 秋田牛や比内地鶏など秋田ブランドによる畜産振興
- ⑥ 先端技術と融合したアグリテックによる生産効率の向上
- ⑦ 秋田の農林水産業の発展を支える研究開発の推進

【平成３０年度の実施事業】

◆メガ団地等大規模園芸拠点育成事業

７５８，３０３千円

- ・園芸品目の飛躍的な生産拡大により、複合型生産構造への転換を加速させるため、本県の園芸振興をリードするメガ団地等の整備を支援。

◆夏秋ねぎ等戦略野菜総合推進事業

１１，５９９千円

- ・夏秋ねぎの生産・販売体制を強化し、７～１２月の京浜市場における出荷量日本一を目指すとともに、「オール秋田体制」による主要品目の生産振興等を支援。

◆新時代を勝ち抜く！農業夢プラン応援事業

４５０，０００千円

- ・戦略作物の生産拡大や６次産業化等に必要な機械・施設等の導入を支援。

◆秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業

６４１，２６１千円

- ・しいたけの販売量・販売額・販売単価の日本一（三冠王）を実現するため、生産体制の強化を図るとともに、販売戦略に基づくプロモーションを展開。

◆“秋田の花”リーディングブランド産地育成事業

１４，４８１千円

- ・キク、リンドウ等の重点５品目の生産拡大を図るため、現地試験や品種開発等を支援。

◆先端技術を活用した未来型果樹産地創造事業

１１，９９５千円

- ・担い手が意欲を持って取り組める果樹産地を創るため、先端技術による省力化等のモデル経営を実施。

◆大規模肉用牛団地整備事業

４１，４８０千円

- ・「秋田牛」の生産基盤の拡大を図るため、大規模肉用牛団地の整備等を支援。

◆比内地鶏販売拡大推進事業

１９，９４６千円

- ・比内地鶏ブランドの再構築を図るため、県内外における消費拡大に向けた取組を推進。

第３期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成３０年度の実施状況

農林水産部会

戦略 ３ 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

施策３ 秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用

【施策の方向性】

- ① 業務用や特定需要など実需と結びついた米づくりの推進
- ② 次代を担う秋田米新品種デビューと販売対策の強化
- ③ 省力化技術やＩＣＴ導入による超低コスト稲作経営の確立
- ④ 複合型生産構造への転換を支える基盤整備の促進
- ⑤ 水田フル活用による自給力の向上

【平成３０年度の主要事業】

◆販売を起点とした秋田米総合支援事業

６９，２０１千円

- ・米政策の見直しに対応し、需要に応じた米づくりを推進するため、実需者との結びつきを強化するなど、消費者から選ばれる産地づくりを支援。

◆秋田から醸す酒米生産拡大事業

３，９３１千円

- ・純米酒等の消費の伸びを県産米の生産拡大につなげるため、新品種等の栽培特性や醸造適性を明らかにするとともに、県内外での需要拡大を図る。

◆秋田米をリードする新品種デビュー対策事業

３４，００３千円

- ・極良食味の新品種について、品種の特性を最大限に発揮できる栽培方法の調査や、効果的なＰＲ戦略策定のためのブランディング調査など、平成32年のお披露目、平成34年の市場デビューに向けた対策を実施。

◆未来を拓く稲作イノベーション推進事業

７，７７６千円

- ・業務用米のシェアを拡大するため、実需者が求める多収性品種の栽培技術確立するとともに、労働力不足の解消や経営の大規模化を推進するため、ＩＣＴを活用した高品質・低コスト生産技術等の実証を実施。

◆経営体育成基盤整備事業

１２，５０９，２４０千円

- ・水田農業の効率化・複合化に不可欠なほ場の大区画化・汎用化を図るため、区画整理を行うとともに、暗渠排水、用排水路、農道等の整備を実施。

第３期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成３０年度の実施状況

農林水産部会

戦略 ３ 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

施策４ 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化

【施策の方向性】

- ① 異業種連携による６次産業化の促進
- ② 企業とタイアップした流通・販売体制の構築
- ③ 秋田の強みを生かした農林水産物の輸出促進
- ④ 秋田の「食」の柱となるオリジナルな商品の開発とブランディング
- ⑤ 幅広いパートナー企業や流通チャネルを活用した販路の拡大
- ⑥ エリアやターゲットを戦略的に選定した秋田の「食」の輸出拡大と、独自性の高い誘客コンテンツとしての活用
- ⑦ G A P等による安全・安心対策の強化と環境保全型農業の推進

【平成３０年度の実施事業】

◆６次産業化総合支援事業

２２，４２８千円

- ・農山漁村における所得向上や雇用の増大、地域活力の向上を図るため、経営化の多角化や異業種連携の促進など、６次産業化の実施を総合的に支援。

◆県産農産物マッチング推進事業

１５，１４８千円

- ・消費者・実需者の多様なニーズに対応するため、マーケットインの視点による流通販売体制の整備と農業法人等の販路開拓の実施を支援。

◆企業タイアップ型流通販売体制整備事業

３，７３６千円

- ・企業が求める一定ロットの確保等に対応するため、農業者の組織化を推進するとともに、企業と連携した新たな需要の創出に向けた実施を支援。

◆農産物海外マーケット開拓推進事業

１４，５２８千円

- ・国内需要が減少する中で、農業者の所得向上を図るため、海外における県産農産物の販路開拓の実施を支援。

◆G A P（農業生産工程管理）取得普及推進事業

１０，６４２千円

- ・農産物流通においてスタンダード化が想定されるG A Pに対応するため、J Aや農業法人等の実施を支援。

第３期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成３０年度の取組状況

農林水産部会

戦略 ３ 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

施策５ 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化

【施策の方向性】

- ① 秋田スギを活用した新たな木質部材等による需要拡大
- ② 林業の成長産業化に向けた生産・流通体制の強化
- ③ 産地間競争に打ち勝つ木材総合加工産地づくりの推進
- ④ 次代の秋田の林業をリードする人材育成

【平成３０年度の主要事業】

- ◆ウッドファーストあきた林業雇用拡大事業 １５４，６４３千円
 - ・林業の雇用拡大に向けて、木材を優先利用する「ウッドファースト」を推進し、県産材の需要拡大を図る。
- ◆秋田型新製品普及開発支援事業 ８，７０６千円
 - ・新たな木材需要の創出を図るため、県内の試験研究機関や民間企業の技術力を活用し、新製品等の開発や普及に向けた取組を実施。
- ◆東京オリンピック・パラリンピック需要を契機とした秋田スギフロンティア事業 ３８，７４０千円
 - ・東京オリンピック・パラリンピックを契機に、一層高まると予想される多様な木質部材の需要に応えるため、ＣＬＴや複合木質部材等の新たな木質部材の開発と普及啓発を推進。
- ◆次世代林業種苗生産対策事業 ６，６７８千円
 - ・スギ人工林皆伐後の再造林推進に不可欠となる種苗を確保するため、県林業研究研修センター内のスギ採種園における種子の増産体制を整備。
- ◆新時代を見据えた秋田スギ流通システム構築事業 １１，０５８千円
 - ・県内の素材生産企業と木材加工企業の木材需給のミスマッチを解消するため、ＩＣＴを活用した木材クラウドの開発を支援。
- ◆林業成長産業化総合対策事業 ３１０，０００千円
 - ・林業の成長産業化を図るため、森林組合等が行う間伐材生産や路網整備などのほか、大館北秋田地域におけるモデル的な取組を支援。
- ◆森林情報利活用ステップアップ事業 ２４，５１０千円
 - ・間伐等の森林整備を計画的に実施するため、森林の資源情報や地図情報を一元管理・活用できる森林情報システムを整備。

第３期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成３０年度の実施状況

農林水産部会

戦略 ３ 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

施策６ つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興

【施策の方向性】

- ① つくり育てる漁業の推進による水産資源の維持・増大
- ② 秋田の海・川資源を生かした水産ビジネスの展開
- ③ 次代を担う漁業者の確保・育成
- ④ 漁港等生産基盤の整備促進
- ⑤ 「全国豊かな海づくり大会」等を契機とした水産業の活力向上

【平成３０年度の主要事業】

◆ハタハタ資源対策強化事業 １３，２２６千円

- ・ハタハタ資源の回復を図るため、漁業者によるふ化放流を支援するとともに、小型魚の漁獲を回避する改良定置網の普及を推進。

◆水産振興センター栽培漁業施設整備事業 ６６９，８２４千円

- ・低コストで効率的な栽培漁業の推進に加え、新たな栽培魚種の種苗生産技術の開発・普及を図るため、最新技術を導入した栽培漁業施設を整備。

◆秋田の水産業モデル創出支援事業 ５，３７３千円

- ・漁業者の所得向上を図るため、産地が行う県産水産物の高付加価値化やブランド化などの取組を支援。

◆水産物供給基盤整備事業 ５６７，１００千円

- ・県産水産物の生産・流通機能の強化を図るため、漁港を計画的に整備。

◆全国豊かな海づくり大会推進事業 ５２，３０２千円

- ・2019年秋に開催される「第39回全国豊かな海づくり大会」の準備を円滑に進めるとともに、県内外での機運を醸成。

第３期ふるさと秋田元気創造プランにおける平成３０年度の取組状況

農林水産部会

戦略 ３ 新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略

施策７ 地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり

【施策の方向性】

- ① 多様な資源を生かした地域ビジネスの展開
- ② 里地里山の保全管理と鳥獣被害対策の強化
- ③ 森林の多面的機能の高度発揮
- ④ 地域を守る防災・減災対策と施設の保全管理の強化

【平成３０年度の主要事業】

- ◆元気な中山間農業応援事業 ３５５，２８０千円
・経営規模は小さくても一定の所得が確保できるよう、水田の畑地化に必要な基盤整備や地域特産物等の生産体制強化に必要な機械等の導入を支援。
- ◆Ｃｏｏｌ Ａｋｉｔａ農泊推進事業 １３，３１５千円
・今後増加が見込まれるインバウンド需要や旅行者のニーズの多様化に対応するため、地域の多彩な資源を活用しながら、グリーン・ツーリズムの受入態勢の整備や、情報発信機能を強化。
- ◆日本型直接支払交付金事業 ４，５６２，１５２千円
・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、水路・農道等を維持する共同活動や、中山間地域等における農業生産活動等を支援。
- ◆秋田の里地里山を守り継ぐプロジェクト事業 ７，０７５千円
・里地里山を守り、水源・景観などの多面的な機能を保全する取組を支援。
- ◆秋田県水と緑の森づくり税事業 ４５９，７１３千円
・地球温暖化の防止や県土の保全、水源のかん養等の公益的機能を有する森林を健全に守り育て、次代に引き継いでいくため、県民参加により森林環境保全のための施策を実施。
- ◆森林病虫害等防除対策事業 ２７２，９８９千円
・県民の財産や生活環境を保全するため、松くい虫及びナラ枯れ被害の拡大・まん延を防止し、防災機能や保健休養機能など森林の公益的機能を維持増進。
- ◆治山事業 ２，８５５，７７２千円
・森林の多面的機能の維持を図りつつ産地災害等を防止・軽減するため、治山対策を推進。
- ◆農村地域防災減災事業 ２，１７８，０７３千円
・老朽ため池や農業用排水施設の補強工事、地すべり防止区域における調査や対策工事を行い、農地の災害を未然に防止し、総合的な防災・減災対策を実施。